

町民文化センター 施設改修工事が始まります

国の交付金（地方創生交付金）の対象事業として、昭和56年に建設された町民文化センターに新たな機能を追加し、複合拠点施設に生まれ変わらせるための施設整備を、平成30年1月から開始します。工事期間中は、駐車場の一部と調理実習室、リハール室などの施設が利用できなくなり、利用者にご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

【問い合わせ】 教育課 生涯学習係 ☎（83）7021

新たな機能・拡充される施設

☆文化拠点機能

- ① 大ホールの音響・照明施設などの拡充
- ② 楽屋施設の改修
- ③ 大ホール前の広場

☆スポーツ機能

- ④ スポーツクライミング施設の新設
 - 1・・・第2駐車場 壁面部（屋外）
 - 2・・・大ホール 舞台壁面部
 - 3・・・大ホール 舞台壁面部
- ⑤ シャワールームの改修

☆未病改善施設

- ⑥ トレーニング施設の新設
- ⑦ 調理実習室の改修

☆国際交流施設

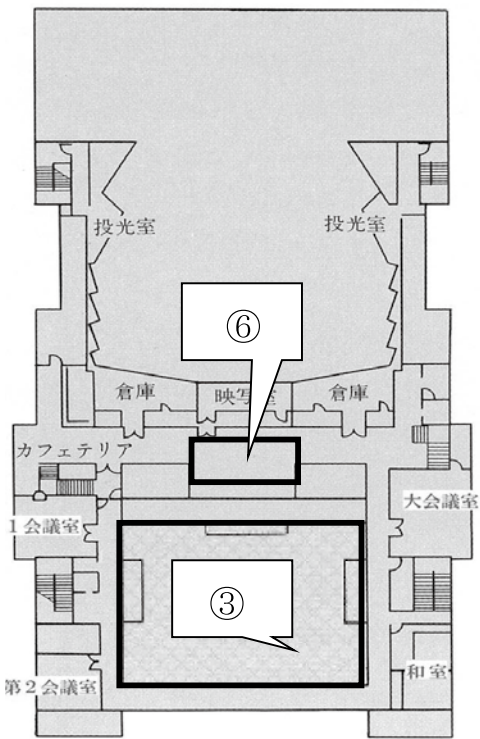
コミュニティースペースの新設
（平成30年度事業）

主な工事概要

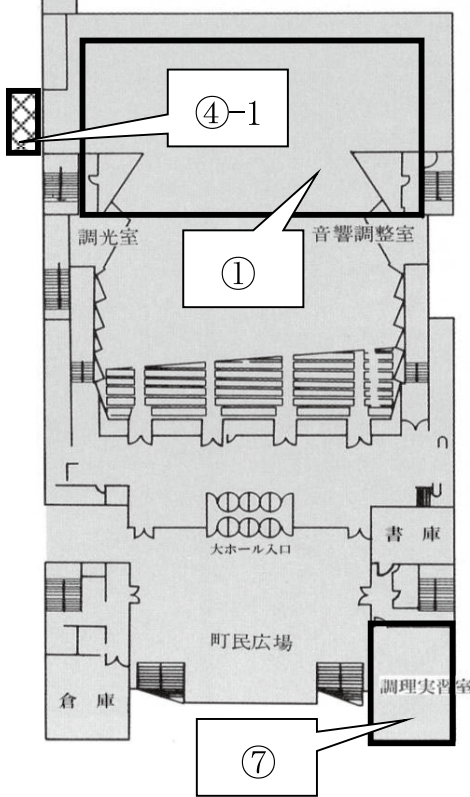
- ① 音響・照明、舞台施設の改修
 - ② 楽屋施設の改修
 - ③ ひさし設置、テーブルなどの整備
 - ④-1 ロープクライミング 最大傾斜115度
高さ13m 幅6m
 - ④-2 ボルダリング
高さ5m 幅21.6m
 - ④-3 ロープクライミング（体験版）
高さ7.2m 幅1.8m
 - ⑤ 簡易シャワールーム整備
 - ⑥ 簡易トレーニングルーム整備
 - ⑦ 調理台などの改修
- その他、屋上などの防水工事なども併せて実施します。

.....
工事期間：平成30年1月上旬～3月下旬
大ホールの音響・照明施設などの施設改修、防水工事は、平成29年11月から順次実施しています。

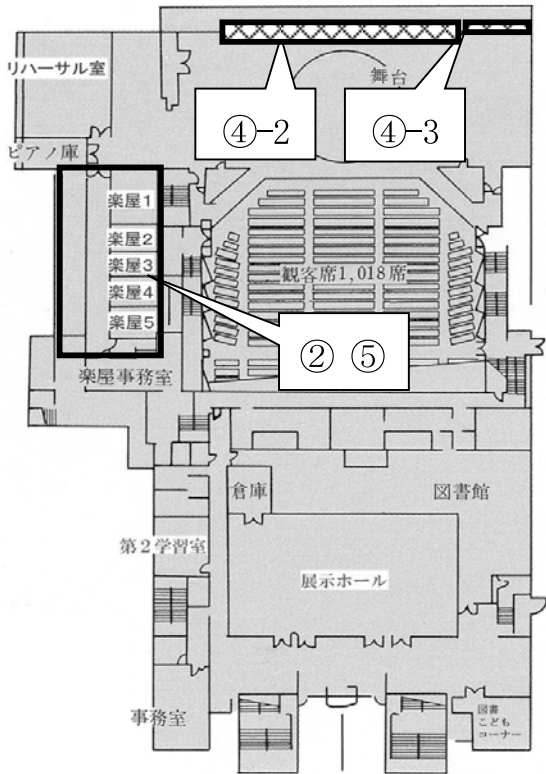
町民文化センター 複合拠点施設整備工事箇所



3階



2階



1階

アンケートの特徴的な答え（複数回答できる設問有り）

- 児童の7割が家族や友達などと過ごしているが、3割が1人で自宅において過ごすことが多い。
- 児童の7割は、本やマンガを読むほかゲームなどを行い、外で遊ぶは4割、塾や習い事に行くは、6割。
- 保護者の4割は、子どもの遊ぶ時間が少ないと感じ、6割が体を動かして遊ぶ機会が少なく感じている。
- 保護者の6割の子どもが地域の大人と触れ合う機会が少なく感じている。実際に近所の大人とあいさつや話をする児童は4割程度。

アンケートの結果では「放課後に子どもが安心して遊べる場所が必要ではないか」との結論に至り、今年の3月に教育委員会に提案（建議）されました。

提言を受けた教育委員会は、社会教育委員会に「子どもの居場所を考慮した放課後子ども教室」の開設を依頼した。アンケート調査を実施した。活動の一つとして「子どもの居場所」はどのようになっているか町内の全児童と保護者にアンケート調査を実施した。

9・10月に試験的に実施

放課後子ども教室

子ども教室の開設する場所、運営の方法などを調査研究するよう「諮問を行いました」。諮問を受け、調査研究を行うため、社会教育委員会は、実際に近隣の先進地を視察し、手法などを学びました。そして、9月に寄小学校、10月には松田小学校で放課後子ども教室を試験的に実施しました。

「人員の確保」が課題

参加した児童と保護者に、実施後にアンケートを行ったところ「楽しかった」「定期的に放課後子ども教室を開催してほしい」などのご意見をたくさん頂きました。

今後の課題は、安全に子どもたちが遊べるよう見守る人員の確保です。

試験実施の際は自治会回覧でボランティアを募りましたが、応募がなかったため、社会教育委員会をはじめ、その知り合いを通じて約20人の方に協力していただきました。本格実施にあたっては、地域の大人が数人程度確保できることが必要です。

子どもたちの「楽しかった」という思いを繋げるため、さらには、アンケートで要望のあった「地域住民同士のあいさつが多くなる環境づくり」ができるよう、放課後子ども教室に関心のある方は、お問い合わせください。

【問い合わせ】

教育課 生涯学習係

☎（83）7021